

近畿のなかま

No.18
2009・5・10

発行人
金融労連近畿地協
事務局長
阿部正巳

少数組合でも闘えば要求が実現

(三菱東京UFJ銀行で派遣労働者など14人が銀産労に加入)

三菱東京UFJ銀行の大阪テレビ窓口センターの派遣労働者が、4月末での一方的な派遣切りに「納得できない」として、職場での派遣会社の枠を超えて既に14人の仲間が4月に銀産労に加入して闘ってきています。

大阪のテレビ窓口センターで働く200人の派遣労働者の4割削減という銀行の計画の下で、契約更新拒否の理由や解雇対象者の人選基準も説明されないうまま4月末で次回契約を2ヶ月とし、最終とするという乱暴な対応が取られました。

このセンターでは、昨年12月旧UFJ系と三菱系のシステム統合を機に、東京へのセンター機能の集中計画が出され、第一弾として旧UFJの中心であった大阪業務センターの縮小対策が取られたものです。

銀産労では、ここ1年、銀行との団体交渉で「派遣労働者の期限満了も一方的な対応をしない」と約束させてきており、その立場からただちに銀行への団体交渉を申し入れ、大阪労連や金融労連本部の応援も得て派遣会社への申入れにも取り組みました。

銀行は当初、派遣会社の問題として団体交渉は拒否していましたが、この間の交渉経緯から団交という形ではないものの、事態の解決に当たる努力を表明し、交渉に応じてきました。

退職希望者には求職期間中の賃金保障も

その結果、この間の一方的な派遣切りのやり方を謝罪し、改めて全員への意思確認を行うことを約束。4月27日から派遣労働者全員への面接を開始し、引き続き働くか、転職か迷われている人には、1ヶ月の回答猶予期間も獲得しました。

また突然の「派遣切り」に遭い、心を傷つけられて、この職場での仕事に耐えられない人には派遣会社や銀行の支援で、違う職場を探す努力も約束。現在の契約期限後職場探しの間、最長6ヶ月は出勤せずに、賃金の支払い保障を認めさせました。

幅広い仲間の組合加入が大きな力に

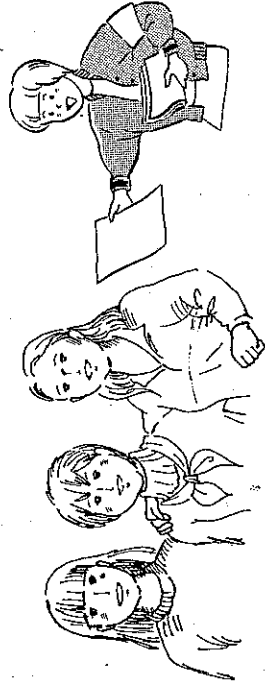
銀行内の多数派組合が、一方的な派遣切り問題に対して何ら目を向けようとしない中で、このように大きな成果をかちとれた背景には、職場の幅広い仲間が「銀産労」に次々と加入して立ち上がったことが、あげられます。4月17日の財務金融近畿総行動の三菱東京UFJ銀行大阪営業部前の早朝宣伝にも初めて参加し、出勤してくる労働者にビラを渡したり、連日のように金融労連西日本事務所に仕事が終わってからパンやおにぎりを持参して集まって話し合いを進めるなど、わずかに1カ月足らずの間に大きく労働者としての「たくましさ」を身につけていきました。

当初「派遣労働者が銀行に対してモノを言えるとは思わなかった」彼女たちが、銀行や派遣会社との交渉の中で、堂々と要求や思いをぶつけ、要求を実現し、悔しい思いを晴らすことができたのです。

会社の中では少数の組合でも、闘えば要求は前進することを改めて示したものと いえます。

今の職場を改善しましょう

退職する人もいますが、銀産労組合員として、現在の職場に残る人もいます。ワークシェアリング後の労働時間の短縮による月収の低下、職場の空調の改善、育児・介護など家庭の事情を尊重した勤務シフトなど引き続き交渉を進め、正行員も派遣労働者も自由にモノが言える明るく働きやすい職場づくりをめざして頑張っていく仲間を金融労連としても一緒に応援する決意です。

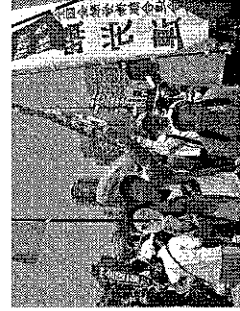


成協信組で7,933円の賃上回答

09春闘では各金融機関で経営悪化を理由に賃上げ回答が遅れています。成協信組では4月27日に文書で7,933円(3.3%)昇格昇給除く5,666円(2.36%)の賃上げ回答が出されました。また初任給の改定も下記の通り行なわれ、全国の信組で最高水準となりました。

	新初任給	引き上げ額
大卒	216,300円	5,750円
短大卒	211,700円	5,750円

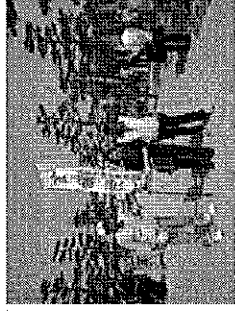
近畿各地でもメーデーに参加



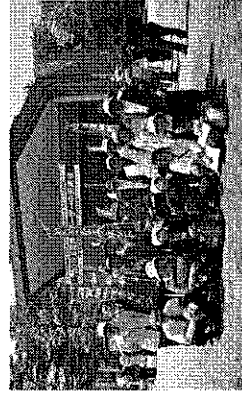
5月1日(金)大阪扇町公園で開かれた第80回大阪地方メーデーには約1万人が参加。「初めてメーデーに参加する」という若い人の姿(大阪中央メーデー写真)

が目立ちました。金融労連からは銀産労の仲間を中心に5人が参加。

また岸和田で開かれた岸和田地区統一メーデーには泉州銀行従組の仲間がOB含め3人参加、豊中市で行なわれた豊能地区メーデーには摂津水都信金の仲間が2人参加しました。滋賀県大津市の膳所公園



で開催された滋賀県メーデー中央集会には450人が参加、長浜キャノン・日本電気硝子・ブリヂストン・



(滋賀県メーデー中央集会写真) ダイハツの非正規切りと闘う労働者がリレートークを行いました。滋賀銀行従組やさざなみネットからもOB含め21人が参加しました。

来年のメーデーは土曜日に当たるので、地域の労働者との交流を図るため、是非多くの仲間の参加をお願いします。



作 ぼんじん

百年に一度の危機
400万年目の危機だ
—— 琵琶湖・淀川の
イタセンパラ



滋賀銀行は定昇(7,108円)のみの回答

滋賀銀行は5月11日の従組との団体交渉で09春闘の賃上げ回答はペアゼロ、定昇のみの7,108円の回答を提示しました。初任給も下記の通りで改定はありませんでした。

	新初任給	引き上げ額
大卒	205,000円	0円
短大卒	173,000円	0円
高卒	157,000円	0円

臨給削減回答は従組が受取拒否

なお同日、臨給についても前期(3.013月・平均1,133,400円)比スライドで30%の削減回答が呈示されたため、従組は回答を不服として受取を拒否しました。

組員拡大次々に実現

京都北都は新入職員の過半数が従組加入

京都北都信金従組は3月30日、新入職員34人に対し組合説明会を実施し、現在までに過半数の19人が従組に加入、さらに2年目3年目の職員も新たに従組に加入し、今春闘で21人の組員拡大を実現しています。また今月末に予定されている大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの従組主催のバスハイクにも予想を大きく上回る175人の参加者が集まるなど、従組への結集を強めています。

個人加盟労組も奮闘

銀産労は、三菱東京UFJ銀行の派遣労働者など14人、近畿大阪銀行、AIU保険でも、それぞれ組員を拡大しています。また近信労でも20歳代の若い組員を新たに組合に迎え入れるなど、個人加盟労組の組織拡大での奮闘が目立ちます。

また滋賀従組でも機関紙読者を新しく増やしています。新しく組員を迎え入れることは、職場に新人が入ってくるのと同様に、組織全体が活性化します。引き続き、粘り強い組織拡大に取り組みましょう！

新人の上手なほめ方・叱り方

「ゆとり教育世代」である新入職員(行員)の特徴は「ストレスに極端に弱い」と言われています。メンタルヘルス不全や退職に追い込まれないように、上司や先輩は上手なほめ方・叱り方を心がけましょう。

【ほめ方】 ●他人と比べず、過去の本人と比べてほめる。 ●無理にほめると逆効果 ●存在自体をほめるのも良い。

【叱り方】 ●良くない個所を具体的に挙げて叱る。 ●どうすれば良いかの質問に置き換え一緒に考える。 ●存在自体を決して否定しない。